

事 業 概 要

令和5年度版



東京都立図書館

令和5年7月

事業概要 令和5年度版 目次

I	組織概要	
1	東京都立図書館運営方針	1
2	東京都立図書館運営組織図	3
3	東京都立図書館事務分掌	4
II	主要事業	
1	令和5年度 主要事業	5
2	令和4年度 主要事業報告	6
III	予算・決算	
1	令和5年度 予算	9
2	令和4年度 決算	10
IV	統計資料（令和5年3月31日現在）	
1	所蔵状況	11
2	オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	12
3	図書館資料収集・整理統計	13
4	利用統計資料（令和4年度実績）	14
(1)	利用状況	14
(2)	登録利用者数	15
(3)	レファレンス件数	15
(4)	書庫内資料利用冊数	16
(5)	情報リテラシー支援件数	16
(6)	政策立案支援サービス件数	16
(7)	特別文庫室利用状況	17
(8)	音声・映像資料利用状況	17
(9)	視覚障害者等サービス状況	17
(10)	協力貸出状況	17
(11)	多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	18
(12)	ホームページ利用状況	18
(13)	チャットボット利用状況	18
(14)	多摩図書館 セミナールーム使用状況	18
V	事業実績（令和4年度）	
1	展示等の事業（展示・講演会等）	19
2	区市町村立図書館職員等への研修等	23
3	学校教育活動への支援事業	24
4	職員研修等	26
5	刊行物及びホームページでの情報提供	27
6	都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和2年2月～令和5年5月	28
VI	所蔵コレクションの紹介	
1	中央図書館	31
(1)	特別文庫室資料 (2) 東京資料 (3) 海外資料	
2	多摩図書館	33
(1)	山本有三文庫 (2) 雑誌創刊号コレクション (3) 児童・青少年資料	
VII	東京都立図書館協議会	34
VIII	資料	
1	東京都立図書館館則	37
2	東京都立図書館沿革	40
3	図書館関係団体・組織一覧	44
4	東京都立図書館ネットワーク概念図	45
5	東京都立図書館シンボルマーク	46
6	ホームページ及びソーシャルメディア	46
7	フロア概要	47
(1)	中央図書館	47
(2)	多摩図書館	50
8	案内図	52

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

(施行期日)

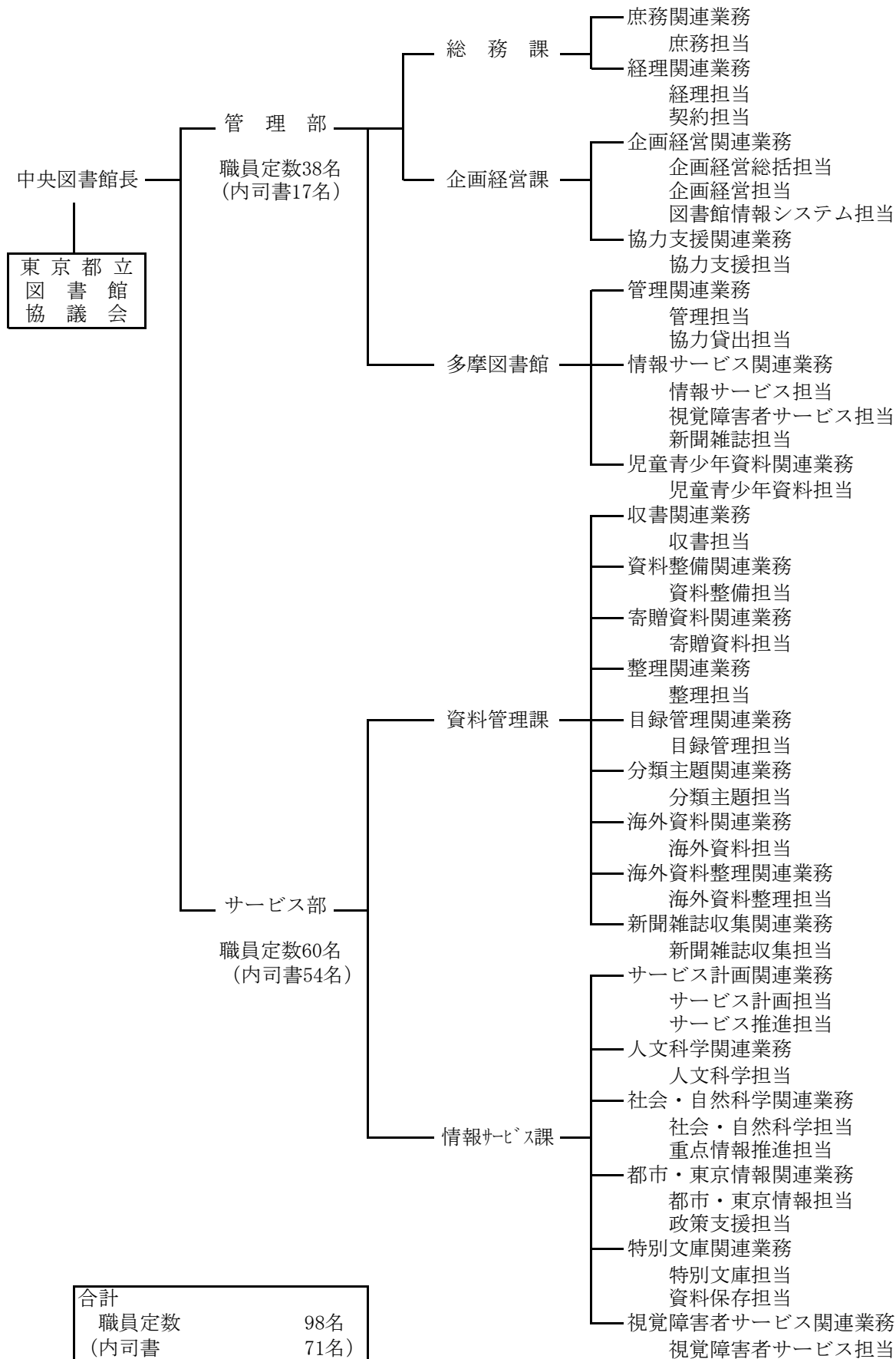
- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
(東京都立中央図書館運営方針の廃止)
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
(東京都立多摩図書館運営方針の廃止)
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(令和5年4月1日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
		中央図書館内他の部課に属さないこと
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
	海外の図書館等との交流に関すること	
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
		多摩図書館の公文書の管理
		多摩図書館の広報・統計・調査
		多摩図書館のサービス計画に関すること
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること
		多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること
		東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附属設備の貸出しに関すること
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し
		多摩図書館の利用案内に関すること
	多摩図書館の施設及び設備の維持管理	
	多摩図書館の館内の取締り	
資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること	
	都立図書館の資料管理に関すること	
	都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）	
	都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること	
	都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）	
	都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）	
	部内他の課に属さないこと	
サービス部	情報サービス課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

Ⅱ 主要事業

1 令和5年度 主要事業

「都立図書館実行プラン 2021-2023 AI時代の都立図書館へのファーストステップ」（令和3年2月）に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の3年目である令和5年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 首都東京の図書館として、情報流通をめぐる社会環境の変化に対応し、「東京」情報の集積・発信を推進する。

- ア 社会環境の変化を踏まえた「東京」情報の集積・発信
- イ 中央図書館50周年記念事業の取組

【具体的な取組】

東京に関する音声・映像資料の保存の考え方の整理、中央図書館50周年記念事業の取組 等

(2) ICTを積極的に活用して、東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

- ア ICTを活用したレファレンス機能の強化
- イ 東京マガジンバンクカレッジの取組による利用者のアクティブな学びの支援
- ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実
- エ ICTを活用した学校への支援拡充
- オ 区市町村立図書館、大学図書館とのネットワーク強化

【具体的な取組】

複写サービスの改善に向けた検討、新たなチャネルを活用した行政活動への支援拡充、東京マガジンバンクカレッジ事業の再構築、外国人利用者に向けたサービスの推進、新たなチャネルを活用した学校教育への支援拡充、申込制プログラムによる支援の充実、特別支援学校図書館整備支援の充実、区市町村立図書館との情報共有の推進 等

(3) 図書館機能のDX化に着手し、新たな時代の東京における情報環境を整備する。

- ア 都立図書館サービスのDX化に向けた基盤整備
- イ 館内施設の整備・活用促進
- ウ 新たな時代を見据えた人材育成の展開

【具体的な取組】

動画による情報発信やオンライン研修のための基盤整備、電子書籍サービスの拡充、オンラインデータベースの導入支援、計画的な施設整備による利用環境の向上、職員育成基本方針の改定・新方針に基づく実施 等

《共通の施策》 積極的な情報発信を通じた都立図書館のPR

【具体的な取組】

新図書館を見据えた連続性のあるイメージ戦略、広報活用の戦略的な展開、外国人をターゲットにした広報の充実 等

尾木直樹都立図書館名誉館長の就任について

都立図書館の利用促進に向けたPRやサービスの向上、子供読書活動の推進に向けた取組等について助言をいただくため、都立図書館名誉館長として尾木直樹氏（教育評論家、法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長）が令和5年4月1日付で就任しました。



2 令和4年度 主要事業報告

(1)首都東京の図書館として、情報流通をめぐる社会環境の変化に対応し、「東京」情報の集積、発信を推進する。

ア 社会環境の変更を踏まえた「東京」情報の集積・発信

新しい時代の東京をテーマに講演会を開催した。中央図書館の一般利用者向けイベントとして、初めてオンラインで実施した。

多摩図書館では、過去の東京の姿を伝える貴重な映像記録の保存と長期的活用を図るため、16ミリ映画フィルムの媒体変換計画に沿って、所蔵するフィルムからDVDへの媒体変換を行った。

イ 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用した情報発信

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のアーカイブ資産の受領が令和4年9月に完了し、閲覧、複写、貸出のための利用要綱を制定した。図書館で受領した文書資産は3,989点、現物資産は143点である。文書資産については、生活文化スポーツ局と連名でプレス発表を行い、令和4年10月に館内での閲覧を開始した。また、工事休館明けの令和5年3月にアーカイブ資産の展示を再開した。

(2)ICTを積極的に活用して、東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア ICTを活用したレファレンス機能の強化

令和4年に稼働した第4期図書館情報システムの構築を契機として、利用者が登録・未登録にかかわらず同一の画面からレファレンス問い合わせができるよう、OPAC機能の見直しを行い、メールレファレンスの一元管理を行った。

また、従来のキーワード一致検索以外でも資料探索ができるように所蔵資料紹介型チャットボットを構築した。必要に応じて有人チャットで補完できるように体制の検討を進めた。

複写サービスの利便性向上を図るため、複写受付窓口における料金徴収においてキャッシュレス決済を導入した。

イ 東京マガジンバンクカレッジの取組による利用者のアクティブな学びの支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、東京マガジンバンクカレッジのイベントをオンラインにより実施した。令和4年9月から12月まで、時刻表元編集長による講演の動画を「東京動画」サイトで期間限定配信した。令和5年1月には、東京マガジンバンクカレッジの団体パートナーと多摩図書館との協働事業として、雑誌制作や雑誌を活用して研究に取り組んだ大学生による成果発表会をオンラインでのライブ配信で開催した。両事業については、都立図書館ホームページのほか、パートナー通信で報告した。

ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実

中央図書館では、工事休館明けの令和5年3月、1階中央ホールの「話題の洋書コーナー」をリニューアルし、新たに「Manga（外国語で読む日本の漫画）」「English & American Literature（英語で書かれた小説）」のコーナーを加えた。これまで同所に設置していた「Books on Japan コーナー」の図書を核とし、日本の伝統・文化や観光情報を紹介する洋書（※）のほか、各分野の新作洋書を集めた。また、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」をタイムリーに提供している。

※都立図書館では、中国語・韓国朝鮮語図書以外の外国語図書を洋書として扱っている。

図書寄贈の申し出がタジキスタン共和国大使館（3冊）、アレクサンドリア図書館（3冊）からあり、受け入れた。

都立図書館所蔵の外国語図書がより活用されるよう、国立国会図書館サーチでの検索を可

能にするため、国立国会図書館総合目録ネットワークに当館所蔵の外国語図書データを追加した。

エ ICT を活用した学校への支援

新型コロナウイルス感染症及び天井改修、空調設備改修工事により、校外学習等の受入れ件数は少なかった。受入れにあたっては、都立図書館の使い方・レポートの書き方講座のオンライン実施、広い部屋を活用しての校外学習対応等工夫して行った。

都立図書館ホームページ内「青少年向け図書選書お役立ちツール」のページで中高生向け新聞の書評に掲載された図書を一覧にした「中高生向け新聞の書評情報リスト」を発信した。また、都立特別支援学校を対象に選書等相談会を行い、学校図書館の整備支援を行った。

オ 特別な支援を必要とする子供たちの読書支援

令和5年3月に、多摩図書館こどものへやの外国語図書コーナーに「りんごの棚～だれでもよめる子どもの本」を増設した。日本語図書についても配架資料を増やし、一層の充実を図った。

カ 区市町村立図書館、大学図書館とのネットワーク強化

区市町村立図書館のニーズや著作権法に留意の上、オンラインによる研修を実施した。また、動画を活用したレファレンスサービスについて試行を開始した。

令和3年度に続き、区市町村立図書館でのWeb会議環境を調査し、その実施可能状況について協力事務担当者会を通じて情報共有した。

令和5年1月には、要領を制定し、大学図書館への貸出を開始した。

(3) 図書館機能のDX化に着手し、新たな時代の東京における情報環境を整備する。

ア 都立図書館サービスのDX化に向けた基盤整備

都立図書館の蔵書や一部のオンラインデータベース等を一括して検索できるディスカバリーサービスを導入した。

利用者のデバイスや館内の予約端末から、簡単な手続きでオンラインデータベース端末やインターネット検索端末、調査研究ルーム等の座席予約が行えるようにした。

閉架書庫の資料や電子書籍をバーチャルな書架イメージとして大画面上で一覧し、一部の資料については利用者のデバイス上でそのまま閲覧もできる電子書架機能(デジタルブックシェルフ)を構築した。

島しょ部を中心にニーズの聞き取り、広域利用事例について他自治体、事業者への調査を行い、島しょ部を対象とする電子書籍サービスの拡充、オンラインデータベースの導入支援について検討した。

イ 館内施設の整備・活用促進

中央図書館では耐震改修工事として、令和4年7月から令和5年2月にかけて天井改修、工事を行い、利用者の安全確保及び施設の機能確保を図った。

多摩図書館では、閲覧室等の利用環境の向上を図るため、令和4年9月から令和5年3月にかけて空調設備改修工事を実施した。

ウ 新たな時代を見据えた人材育成の展開

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目指し、OJTや館内研修、派遣研修等に取り組んだ。令和4年度は、オンラインやオンデマンドによる方式が定着し、感染拡大防止とともに場所や時間の制約が回避できる研修が増加した。また、主任級司書職員の育成の一環として、国立国会図書館との1年間の人事交流は2

年目となった。

(4) 戦略的な情報発信を通じた都立図書館の PR

ア 新たな手法による情報発信強化

都立図書館をわかりやすく紹介した 6 秒程度のアニメ動画を、都立図書館ホームページ及び館内デジタルサイネージにおいて公開した。

外国人に対する広報では、外国人等にもわかるように配慮して、簡単な日本語で図書館を紹介した「東京都立図書館やさしい日本語版」ホームページを令和 5 年 3 月 27 日に公開した。

図書館で実施するイベントについて、効果的な広報を実施するため「ディレクションシート」を活用して、対象者に伝わる広報を実施した。実施後は、各指標を検証し次回事業への改善をはかった。

都立図書館 Twitter アカウントは、令和 5 年 2 月より東京都カテゴリー別公式アカウント「東京都 子供・教育」に統合された。

多摩図書館では、令和 4 年度も、コロナ禍での情報発信のツールとして、都立図書館ホームページや SNS の活用に加えて、毎月、エフエムラジオ立川の情報番組に職員が生出演し、館内利用 PR やイベント情報、臨時休館の案内等の発信を行った。

イ イベント等の取り組み

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、都立図書館の所在地にある区で実施するイベント等に出展した。参加したイベントは以下のとおり。

(ア) 港区主催 5 月実施「エコライフ・フェア MINATO」

(イ) 港区主催 10 月実施「みなと区民まつり」

Ⅲ 予算・決算

1 令和5年度 予算

(千円)

項目	予算額			内 容
	令和5年度	令和4年度	増△減	
管理運営等	780,413 (23,554)	879,161 (7,454)	△ 98,748 (16,100)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費（図書館改修工事を含む。）
サービス事業	159,084 (9,466)	160,712 (10,787)	△ 1,628 (△ 1,321)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	389,326 (5,338)	388,944 (6,471)	382 (△ 1,133)	図書館資料の収集、整理、修理保全、蔵書目録作成等に要する経費 〔令和5年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 25,738 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,116 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,600 冊 同上 (青少年) 2,250 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 38,834 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,020 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 373 種
電算システムの運営	11,991	97,143	△ 85,152	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,298 (1,069)	1,578 (1,273)	△ 280 (△ 204)	委員数 12名 定例会 年3回 (令和5年度予定)
業務委託	477,633 (133,382)	495,317 (164,516)	△ 17,684 (△ 31,134)	都立図書館の資料出納、複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	1,935	1,935	0	館外イベントへの出展、所蔵資料を活用した企画展示、講演会等の開催に要する経費
計	1,821,680 (172,809)	2,024,790 (190,501)	△ 203,110 (△ 17,692)	

(注) ・予算額は年度当初の額
・予算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

2 令和4年度 決算

(円)

項目	決算規模	予算額	決算額
I 管理運営等		884,567,000 (7,454,000)	722,429,171 (4,951,764)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡ 地上3階 延 8,982㎡		
II サービス事業		155,661,000 (10,787,000)	141,706,344 (7,780,533)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広報 2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広報	開館日数 281日 入館者数 108,610人 開館日数 265日 入館者数 47,988人		
III 資料収集・整理		385,944,000 (8,471,000)	378,662,445 (4,882,891)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館 2 図書資料の整理 3 修理保全 4 蔵書目録	1 図書 (1) 新刊和書 20,134冊 (2) 既刊書 1,447冊 (3) 洋書 4,441冊 (4) 中国語・韓国・朝鮮語図書 2,281冊 (5) 電子資料 1枚 (6) 児童書(和書) 3,382冊 (7) 青少年図書(和書) 1,756冊 2 逐次刊行物 (1) 新聞 153種 (2) 雑誌 3,843種 (3) 年鑑・年報(和書) 1,365冊 (4) 年鑑・年報(洋書) 116冊		
IV 電算システムの運営		85,143,000	77,506,698
V 図書館協議会		1,578,000 (1,273,000)	1,246,991 (996,796)
VI 業務委託		469,990,000 (164,516,000)	466,139,001 (161,146,780)
VII タイムリーな企画展		1,935,000	1,679,657
計		1,984,818,000 (192,501,000)	1,789,370,307 (179,758,764)

(注) ・予算額は決算時の額

・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

・決算額は令和5年4月末時点における速報値である。

IV 統計資料（令和5年3月31日現在）

1 所蔵状況

(1) 図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1,448,315	242,475	1,690,790
	総 記	60,452	7,136	67,588
	哲 学	78,277	7,168	85,445
	歴 史	200,279	13,049	213,328
	社 会 科 学	396,756	30,987	427,743
	自 然 科 学	140,768	11,244	152,012
	技 術	157,023	14,156	171,179
	産 業	107,876	6,134	114,010
	芸 術	140,431	14,353	154,784
	言 語	29,140	4,067	33,207
	文 学	137,313	134,181	271,494
	東京資料	264,878	4,768	269,646
	児童資料	0	190,241	190,241
	青少年図書	0	43,765	43,765
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	187,658	35,101	222,759
	一 般 書	185,510	13,683	199,193
	東京資料	2,148	15	2,163
	児童資料	0	21,402	21,402
	青少年図書	0	1	1
	中国語図書	76,474	5,199	81,673
	一 般 書	75,963	137	76,100
	東京資料	511	1	512
	児童資料	0	5,061	5,061
	青少年図書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	26,046	2,479	28,525
	一 般 書	25,651	36	25,687
	東京資料	395	2	397
	児童資料	0	2,441	2,441
青少年図書	0	0	0	
特 別 文 庫	243,637	0	243,637	
山本有三文庫	0	13,560	13,560	
計	2,247,008	537,588	2,784,596	

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区分		中央図書館				多摩図書館				合計	
		新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小計	新聞雑誌	児童青少年 資料	東京資料	小計		
新聞	日本語	継続	179	225	0	404	45	9	32	86	490
		終刊・中断	253	397	45	695	83	21	0	104	799
		小計	432	622	45	1,099	128	30	32	190	1,289
	外国語	継続	24	3	0	27	3	0	0	3	30
		終刊・中断	45	19	0	64	2	1	0	3	67
		小計	69	22	0	91	5	1	0	6	97
計		501	644	45	1,190	133	31	32	196	1,386	
雑誌	日本語	継続	1,089	497	0	1,586	5,074	175	0	5,249	6,835
		終刊・中断	2,437	1,687	255	4,379	12,283	743	0	13,026	17,405
		小計	3,526	2,184	255	5,965	17,357	918	0	18,275	24,240
	外国語	継続	50	9	0	59	379	19	0	398	457
		終刊・中断	77	10	329	416	1,230	66	0	1,296	1,712
		小計	127	19	329	475	1,609	85	0	1,694	2,169
計		3,653	2,203	584	6,440	18,966	1,003	0	19,969	26,409	
マイクロフィルム (注2)		16 (16,649)	12 (1,657)	—	28 (18,306)	16 (10,831)	3 (13)	4 (152)	23 (10,996)	—	

(注1)冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,637冊」の内数。

(注2)下段()は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム		ビデオ テープ	LD・ DVD	スライド フィルム	レコード・CD ()はCDで内数	録音 テープ	航空写真 ネガフィルム
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,656	264	5,810 (1,762)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料		点字資料		点字雑誌・新聞		録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デージー					録音テープ	デージー
中央図書館	3,624点 26,789巻	2,591点 2,621枚	733点	3,521冊	10種	4,110冊	7種	651点 13種 628枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,595点 1,595枚	411点	1,701冊	11種	604冊	19種	4,418点 7種 389点

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R含む)
中央図書館	66,962点	9,375巻	6,444枚	39,648枚	5,581枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

(種)	
区分	オンラインデータベース 導入数
無料	33
有料	1
計	34

(タイトル)	
区分	電子書籍 タイトル数
日本語コンテンツ	1,897
英語コンテンツ	1,198
計	3,095

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	34,923 (6,838)
受 贈	7,630 (102)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	23 (0)
計	42,576 (6,940)

(注) 年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	371
-------------------	-----

(2) 逐次刊行物受入状況

(年鑑年報は冊数 新聞雑誌はタイトル数)

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,481 (116)	118 (19)	35 (2)	822 (50)	3,021 (333)
受 贈	2,900 (28)	244 (6)	47 (1)	1,066 (13)	3,008 (82)
計	4,381 (144)	362 (25)	82 (3)	1,888 (63)	6,029 (415)

(注) ()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	32,085	6,783	4,990	43,858

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
3,624	735	0	4,359

4 利用統計資料（令和4年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平均	
令和4年 4月	28	13,250	473	28	4,292	153	17,542
5月	29	15,586	537	29	5,202	179	20,788
6月	28	14,859	531	28	5,280	189	20,139
7月	16	8,721	545	29	6,541	226	15,262
8月	26	8,341	321	29	7,878	272	16,219
9月	28	8,061	288	0	0	0	8,061
10月	29	8,796	303	29	4,311	149	13,107
11月	28	8,562	306	28	3,958	141	12,520
12月	16	4,612	288	16	2,108	132	6,720
令和5年 1月	19	5,406	285	19	2,569	135	7,975
2月	18	5,990	333	18	2,691	150	8,681
3月	16	6,426	402	12	3,158	263	9,584
計	281	108,610	387	265	47,988	181	156,598

イ 複写枚数

(枚)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平均	
令和4年 4月	28	70,988	2,535	28	10,919	390	81,907
5月	29	84,003	2,897	29	10,507	362	94,510
6月	28	72,040	2,573	28	12,669	452	84,709
7月	16	50,478	3,155	29	13,715	473	64,193
8月	26	48,682	1,872	29	18,451	636	67,133
9月	28	46,869	1,674	0	0	0	46,869
10月	29	46,468	1,602	29	15,971	551	62,439
11月	28	43,618	1,558	28	11,759	420	55,377
12月	16	27,274	1,705	16	8,775	548	36,049
令和5年 1月	19	29,559	1,556	19	7,378	388	36,937
2月	18	32,897	1,828	18	8,405	467	41,302
3月	16	35,875	2,242	12	6,463	539	42,338
計	281	588,751	2,095	265	125,012	472	713,763

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、総合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和4年 4月	792,467	219,342
5月	860,168	236,560
6月	851,630	68,233
7月	822,810	132,920
8月	906,207	228,717
9月	844,613	224,657

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和4年 10月	860,386	224,323
11月	825,572	208,286
12月	468,022	136,032
令和5年 1月	511,636	90,692
2月	569,580	100,094
3月	636,342	136,295
計	8,949,433	2,006,151

(注)令和4年6月4日から7月13日まで統合検索利用件数が取得不可。令和4年12月19日から令和5年1月11日までシステム再構築のため休止。

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

		(人)				(人)	
区 分		各月末現在の登録利用者数		区 分		各月末現在の登録利用者数	
令和4年	4月	5,801		令和4年	10月	7,342	
	5月	6,123			11月	7,545	
	6月	6,439			12月	7,651	
	7月	6,710		令和5年	1月	7,872	
	8月	6,953			2月	8,102	
	9月	7,127			3月	8,329	

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館ホームページに掲載。

- ・インフルエンザの流行による学級閉鎖（休業）が導入された経緯とその効果を知りたい。
- ・手塚治虫本人が行った講演が載っている資料はないか。
- ・渋谷駅ハチ公広場のレイアウトとハチ公の位置について、戦後から現在まで、どのように変化したのかを知りたい。
- ・関東大震災後及び太平洋戦争後に東京の飲食店数が急増したようだが、それを裏付ける資料はあるか。

ア 質問形態内訳

[都立図書館計]

(件)

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1日平均	総 数	1日平均	
口 頭	13,579	48	5,706	22	19,285
電 話	22,331	79	5,443	21	27,774
ファクシミリ	2	0	0	0	2
文 書	859	3	112	0	971
Eメール	2,689	10	476	2	3,165
計	39,460	140	11,737	44	51,197

[中央図書館]

(件)

区 分	情報サービス課 4担当	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	13,041	321	217	13,579	281	48
電 話	19,328	378	2,625	22,331	281	79
ファクシミリ	2	0	0	2	281	0
文 書	734	35	90	859	281	3
Eメール	2,568	80	41	2,689	281	10
計	35,673	814	2,973	39,460	281	140

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が3,545件ある。

[多摩図書館]

(件)

区 分	情報サービス担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	4,198	1,422	86	5,706	265	22
電 話	4,954	339	150	5,443	265	21
ファクシミリ	0	0	—	0	265	0
文 書	103	9	—	112	265	0
Eメール	343	133	0	476	265	2
計	9,598	1,903	236	11,737	265	44

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都 内 公 立 図 書 館	区立図書館	0	72	72
	多摩地区市町村立図書館	1	89	90
	島しょ図書館	0	0	0
	小計	1	161	162
その他		1	45	46
計		2	206	208

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	189,241
1日平均	673

図書・新聞・雑誌の合計

(冊)

多 摩 図 書 館					
	図 書		雑 誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌	
年間	21,743	(12,580)	76,804	(7,468)	98,547
1日平均	82	(47)	290	(28)	372

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 館			
情報サービス課4担当	特別文庫室	視覚障害者サービス担当	計
3,897	98	84	4,079

(注)中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が15,005件ある。

多摩図書館
705

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	2,461	112	2,573
都庁内貸出冊数	846	51	897
複写枚数	5,660	605	6,265

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

開室 日数 (日)	閲覧者数 (人)		閲覧数 (冊)		複製関係						資料貸出		合計利用冊数	
	人数	1日平均	冊数	1日平均	撮影		即日複写		フィルム貸出		件数	冊数	冊数	1日平均
					件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数				
281	438	2	3,441	12	129	375	94	333	1	1	6	34	4,184	15

イ 掲載及び復刻・翻刻

掲載		復刻・翻刻	
件数	冊数	件数	冊数
69	135	14	20

ウ 書庫内資料利用冊数

特別文庫室	
年間	冊数
1日平均	69

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数 (人)	利用点数 (点)
227	417

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デジ資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区 分	登録者		対面音訳			テープ・デジ資料				点 訳				
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	テープ資料		デジ資料		受付数	作成数 (冊)	貸出数	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)			点字 (冊)	FD (枚)
中央図書館	286	87	260	414	1,109	34	0	184 (214)	34 (36)	4,517 (4,526)	5	5 (17)	89 (122)	24 (24)
多摩図書館	110	14	224	224	641	8	0	5 (19)	17 (17)	1,543 (1,539)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(注1) デジとは、Digital Accessible Information System (デジタル録音図書) の略。

(注2) 貸出数の中には、借受・貸出分も含む。

(注3) 作成数の中には雑誌・新聞(テープ、デジ及び点訳)は含まない。

(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻(冊)数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸出している。

区 分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合 計
区立図書館	7,139	1,544	8,683
多摩地区市町村立図書館	45,919	3,085	49,004
島しょ図書館	744	65	809
計	53,802	4,694	58,496

イ 都外公立図書館との相互貸借、大学図書館等への貸出

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。令和5年1月より、大学図書館への貸出を開始した。

区 分	都外貸出		都外借用		大学図書館・その他への貸出	
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	68	83	15	15	2	2
多摩図書館	4	4	5	5	0	0
計	72	87	20	20	2	2

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区 分		登 録 数	貸 出		
			件 数	点 数	
16 ミ リ 映 画 フ ィ ル ム	団 体	25	94	333 本	
	特 別 団 体	8			
	うち、 長期貸出し 島しょ	大島	—	12	120 本
		三宅		0	0 本
		八丈		0	0 本
		小笠原		1	4 本
	計	—	13	124 本	
映 写 機 貸 出		—	23	24 台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区 分	トップページ アクセス数
令和4年 4月	62,701
5月	68,118
6月	64,743
7月	59,414
8月	59,264
9月	51,426
10月	52,682
11月	50,074
12月	46,454
令和5年 1月	63,244
2月	57,061
3月	58,398
計	693,579

(13) チャットボット利用状況

区分	ルーム数
令和4年 4月	1,685
5月	1,385
6月	1,299
7月	1,217
8月	1,220
9月	789
10月	1,005
11月	881
12月	764
令和5年 1月	931
2月	1,336
3月	872
計	13,384

(14) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員216名。約100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区 分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム1	セミナールーム2
令和4年 4月	4	9	9
5月	16	1	5
6月	16	2	4
7月	12	6	5
8月	12	3	2
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
令和5年 1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
計	60	21	25

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年6月15日から最大収容人数を3分の1に制限

※空調設備改修工事のため、令和4年9月から令和5年3月まで使用中止

V 事業実績（令和4年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をもっとPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
イ 図 本 館 ト 外	エコライフ・フェアMINATO2022	5月21日	港区立有栖川宮記念公園	- 名
	みなと区民まつり	10月8日～9日	港区増上寺境内	424 名
中 央 図 書 館 企 画 展 示	「いつか読みたいみんなの積ん読展」	9月13日～12月18日	オンライン (関連ミニ展示:中央図書館 4階エレベーターホール*)	/
	東京文化財ウィーク2022参加企画展「あつめずにはいられない ～趣味人の貼込帖から～」	10月31日～11月30日	オンライン (一部実物展示:中央図書館 5階特別文庫室閲覧室)	
	「いつか読みたいみんなの積ん読展(リターンズ)」	3月16日～5月31日	中央図書館企画展示室	4,994 名
コ ニ 展 示 ミ ニ 書	「Discover Soseki」	5月13日～7月18日	中央図書館 1階話題の洋書コーナー*	/
	「Nihonga Japanese-style paintings and prints」	3月16日～5月10日		
展 示 産 ア イ ブ カ	「東京2020アーカイブ資産展示」	1月7日～7月18日 3月16日～通年	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	/
コ ー ナ ー ミ ニ 展 示	「東急電鉄－目黒蒲田電鉄設立から100年－」	5月13日～7月18日	中央図書館 都市・東京情報コーナー (工事期間中は4階 エレベーターホール)*	/
	「上野動物園創立140周年」	8月5日～10月5日		
	「東京の橋」	10月7日～11月30日		
	「井の頭自然文化園開園80周年－井の頭自然文化園と武蔵野－」	12月2日～2月1日		
	「手のことば－東京都手話言語条例施行－」	2月3日～2月20日 3月16日～5月10日		
ビ ジ ネ ス 展 示	「高校生ビジネスプラン・グランプリ」*日本政策金融公庫との連携 展示	5月13日～7月18日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	/
	「メタバース」	3月16日～5月10日		
	「レベル3の先へー自動運転をめぐる－」	5月13日～7月18日	中央図書館 社会・自然科学系 資料・閲覧室*	
ミ ニ 展 示	「知っておきたい！ペット・動物をめぐる法律」	5月13日～7月18日	中央図書館 法律情報コーナー*	/
	「お済みですか？相続登記」	3月16日～5月10日		
ミ ニ 展 示	「がん相談支援センター長にきく『人生に向き合う』ブックリスト」	5月13日～7月18日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	/
	「「睡眠」のすべて」	3月16日～5月10日		
社 会 ・ ビ ジ ネ ス 展 示	「追悼 見田宗介さん」	4月16日～5月11日	中央図書館 社会・自然科学系資料・ 閲覧室(工事期間中は4階 エレベーターホール)*	/
	「EARTH×HOUSE エコいろいろブック展示」	5月13日～5月31日		
	「ヤングケアラーを考える」	6月3日～7月18日		
	「読んで知る！ノーベル賞2022」	10月14日～11月9日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
社会・自然科学系 トピック展示	「なまずと外来生物」	2月14日～2月20日	中央図書館 社会・自然科学系資料・ 閲覧室(工事期間中は4階 エレベーターホール)*	
	「Chocolate」	2月14日～2月20日		
	「トルコ・シリア地震関連資料」	2月14日～2月20日 3月16日～5月10日		
	「陳建一さん追悼展示」	3月16日～4月5日	中央図書館 1階中央ホール*	
	「戦争と平和を考える」	5月13日～7月18日		
	「沖縄を知る」	5月13日～7月18日		
人文科学系 トピック展示	「映画『ドライブ・マイ・カー』をもっと深く知りたい」	4月1日～5月11日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「追悼 藤子不二雄A先生」	4月8日～5月11日		
	「本屋大賞2022決定！」	4月8日～5月11日		
	「追悼 白川義員さん」	5月26日～7月6日		
	「追悼 田沼武能さん」	6月14日～7月6日		
	「追悼 大江健三郎さん」	3月16日～5月10日		
	「ワールド・ベースボール・クラシック2023」	3月23日～4月5日	中央図書館 1階中央ホール*	
人文科学系 ミニ展示	「スタジオジブリと日本のアニメーションの歴史」	5月13日～7月18日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「Jリーグ30周年」	3月16日～5月10日		
美術展開連展示	「沖縄と美」	5月13日～6月1日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「現代アートの巨匠 ゲルハルト・リヒター」	6月2日～7月18日		
	「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」	3月16日～5月10日		
	「展覧会カタログ2022」	3月16日～5月10日		
大使館等連携展示	在日エクアドル共和国大使館主催「エクアドル建国200年祭 自由への道」	5月24日～6月6日	中央図書館 1階話題の洋書コーナー (工事期間中は4階 エレベーターホール)*	
	「もっと知りたい！デンマーク」	9月2日～11月9日		
	「ペテーフィってだあれ？」	11月24日～11月26日		
	「タジキスタン」	12月2日～12月18日		
	「ハンガリーの文化の日」	1月21日～1月26日		
	「エジプト アレクサンドリア図書館に行ってきました！」	3月16日～5月10日		
重要文化財 原資料の展示	東京文化財ウィーク2022特別公開事業「江戸城造営関係資料(甲良家伝来)」	10月29日～11月6日	中央図書館 特別文庫室	148名
東京都立多摩図書館企画展示	「子供の本と時刻表でたどる鉄道の歴史」	6月3日～8月31日	多摩図書館閲覧室、展示ウォール、開架書庫*	

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
出張 展示	「都立多摩図書館の『〇〇〇』全部書庫から出してみた！」 (テーマ: 第1回 鉄道・第2回 音楽・第3回 食)	10月20日 11月17日 12月8日	東京都公文書館 研修室	
ミニ 東京 マガ ジン ウォ ール バン ク 展 示	東京マガジンバンク ウォール展示「女性誌でときめく・アがる・高まる♡ 春ファッション」	3月20日～5月10日	多摩図書館閲覧室、展示 ウォール*	
児童 ミニ 展 示	「コレクション」	6月3日～8月31日	多摩図書館児童エリア*	
	「作ってみる自由研究」「自由研究 外に出て調べる本」	7月20日～8月31日		
	「山脇百合子さんの本」	10月11日～12月4日		
	「クリスマス」	12月4日～12月16日		
	「うさぎの本」	1月12日～2月19日		
	「トルコ・シリアの本」	3月20日～4月20日		
	「げんきな1ねんせいのほん」	3月20日～4月13日		
	ほん・本・ごほん	通年		
青 少 年 サ ー ビ ス 展 示	「中高生のおすすめ本」	4月1日～2月20日	多摩図書館青少年エリア*	
	「総文祭」	4月21日～8月4日		
	「ウクライナを知る」	5月13日～8月31日		
	「おカネを読む」	7月21日～8月31日		
	「いまこそ知りたいトルコ・シリア」	3月20日～4月20日		
	「TAMA selection plus おいしいはなし」	3月20日～終期末定		
	「きっかけは本」	3月20日～終期末定		
ス ポ ッ ト 展 示	「羅針盤」・「羅針盤Ⅱ」	通年	多摩図書館青少年エリア*	
	「扉をあけて」・「扉をあけてⅡ」	通年		
	「TAMA selection」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「英語多読棚」	通年		
ミニ 展 示	「日本のわらべうた」	2月4日～5月11日	多摩図書館児童研究書エリア*	
	「生誕90年 堀内誠一さんの本・仕事」	6月3日～8月31日		
児童青少年 資料担当 ウォール展示	「生誕90年 堀内誠一さんの本・仕事」	5月18日～6月1日	多摩図書館展示ウォール*	

注*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下を除く講演会、イベント、図書館ツアー、映画会等は実施しなかった。

区 分	日 程	会 場	参加者数
都市・東京情報 公開講座	「身近なところから考えるこれからの東京のまちー 東京湾岸地域を事例にー」	11月26日	Web会議ツールによる オンライン開催 102名
東京マガジンバンクカレッジ	配信イベント「元編集長が語る時刻表ウラ話～鉄 道開業150周年～」	9月9日～12月18日	「東京動画」にて配信 -名
	大学ゼミ発表会「大学ゼミ成果発表会2023 ～雑 誌を活用して社会について考えよう～」	1月28日	Web会議ツールによる オンライン開催 52名

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
子供読書活動 推進事業	登録制乳幼児おはなし会「わらべうたの会」	5月18日(おためし)、 6月1日、6月15日、 7月6日、7月21日、 8月3日、8月12日	多摩図書館	延57名
	登録制乳幼児おはなし会「ウリボウの会」	同上		延72名
	小学生対象おはなし会	12月23日		2名
図書館見学ツアー	バックヤード2回	5月18日、6月16日	中央図書館	16名
	通常ツアー3回	6月2日、7月7日、 8月4日	多摩図書館	26名

(3) 映画会 (多摩図書館)

区 分	内 容	日 程	開催回数	参加者数
特別上映会	「蒸気機関車に関連するアニメ・ドキュメンタリーなど」 ①走れ！蒸気機関車 ②氷河ねずみの毛皮 ③走れタンコロひかりの中へ ④汽車汽車しゅっぱぽぽ スイスのかわいい蒸気機関車	8月7日	1回	17名
	「RAILWAYS-49歳で電車の運転士になった男の物語」	8月18日	1回	17名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名		会場	回数	修了者数	
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「法律情報」	中央図書館	1回	26名	
		テーマ別研修「東京情報」		1回	27名	
		テーマ別研修「美術情報」		1回	23名	
		テーマ別研修「講師養成講座」	中央図書館	1回	12名	
			オンライン同時配信	1回	19名	
	テーマ別研修「健康・医療情報」	中央図書館	1回	23名		
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ（全3日間）		多摩図書館	1回	61名
児童図書館専門研修Ⅱ		多摩図書館	1回	63名		
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修	（全6日間）	中央図書館	1回	22名
		中級研修	（全6日間）	多摩図書館	1回	20名
		専門研修		多摩図書館	1回	46名
	障害者サービス研修			多摩図書館	1回	55名
講師派遣	令和4年度多摩地区図書館障がい者サービス研究会 第1回定例会（10月13日）		西東京市田無公民館（1名派遣）	1回	34名	
	資料保全（製本）研修（11月10日）		中央区京橋図書館（1名派遣）	1回	10名	
	対面朗読（初心者向け）講座（11月17日）		羽村市図書館（1名派遣）	1回	17名	
	レファレンス研修（法律情報）（11月24日）		葛飾区立中央図書館（2名派遣）	1回	26名	
	レファレンス中級研修（健康・医療情報）（1月26日）		世田谷区立中央図書館（3名派遣）	1回	14名	
	レファレンス研修（ビジネス情報）（2月2日）		多摩市立図書館本館（3名派遣）	1回	46名	
	対面朗読講習会（3月16日）		練馬区立光が丘図書館（1名派遣）	1回	21名	
製本研修	資料保全（製本）研修		中央図書館	2回	37名	
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会		中央図書館	1回	29名	
			オンライン同時配信	1回	45名	
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会		中央図書館	1回	34名	
			オンライン同時配信	1回	21名	
	障害者サービス事務担当者連絡会		多摩図書館	1回	46名	
	児童・青少年サービス担当者会		多摩図書館	1回	65名	
	東京都図書館 研究交流会	新館見学会	第1回（5月16日）	昭島市民図書館	1回	25名
			第2回（10月31日）	板橋区立中央図書館・いたばしボローニャ絵本館	1回	14名
		講演会	第1回（3月17日）	中央図書館	1回	36名
	東京都公立図書館長 連絡会	全体会	第1回（8月30日）	中央図書館	1回	27名
			第2回（3月13日）		1回	24名
協力事務担当者会	第1回	書面開催（5月31日）		1回	60名	
	第2回	12月8日	中央図書館	1回	46名	

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研修名	主催者	派遣者数	回数	修了者数
講師派遣	情報サービス論（7月19日）	駿河台大学	1名	1回	77名
	児童図書館員養成専門講座（9月29日）	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	15名
	福井県公共図書館児童サービス研修会（10月25、26日）	福井県立図書館	1名	1回	32名
	児童サービス論（12月3日）	文化学園大学	1名	1回	31名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第四次東京都子供読書活動推進計画」（令和3年3月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンスサービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 18件（中央図書館 17件、多摩図書館 1件）
（授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等）

(イ) 子供の読書に関する相談 20件
（子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等）

イ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、資料の選定、整理、出納及び整架などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
千代田区立九段中等教育学校(2年 4名)、港区立高陵中学校(2年 4名)、神津島村立神津中学校(2年 1名)、都立桜修館中等教育学校(2年 4名)、都立白鷗高等学校附属中学校(2年 4名)	中央図書館	5校	17名

ウ 校外学習の受入れ

新型コロナウイルス感染症及び天井改修工事、空調設備改修工事の影響により、大規模な校外学習の受入れができなかった。中央図書館では、校外学習プログラムをオンライン講座により対応した。多摩図書館では広いセミナールームを活用し、校外学習の受入れを行った。この他、中央図書館、多摩図書館とも小規模での見学受入を行った。

	受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
(中学)	成蹊中学・高等学校(6名)	中央図書館	1校	6名
(高校)	都立小山台高等学校(1年 320名、オンライン講座へのリモート参加) この他1校から問合せ等があったが、施設改修工事の影響により、キャンセルとなった。	中央図書館	1校	320名
(特別支援学校)	都立調布特別支援学校(中学部3年 27名)	多摩図書館	1校	27名

エ 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

	実施校等	主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(小学校)	国立市立国立第三小学校(7月14日、7月19日)	ブックトーク実施及び講座	多摩図書館	1校	計90名
(特別支援学校)	都立葛飾ろう学校、 都立立川学園(幼稚部)	図書館整備相談	多摩図書館	2校	-
(特別支援学校)	都立葛飾ろう学校、 都立多摩桜の丘学園、 都立調布特別支援学校、 都立田園調布特別支援学校、 都立水元小合学園、 都立南大沢学園、 都立武蔵台学園	学校図書館選書等相談会	多摩図書館	7校	-
(特別支援学校)	都立久我山青光学園 都立東久留米特別支援学校	選書支援	多摩図書館	2校	

(特別支援学校)	都立小金井特別支援学校(3回、51名) 都立調布特別支援学校(24回、延269名) 都立八王子東特別支援学校(6回、延80名) 都立村山特別支援学校(10回、95名) 都立久我山青光学園(2回、20名)	出張おはなし会	多摩図書館	5校	515名
(高校)	都立世田谷総合高等学校(5月11日、5月27日)	読み聞かせ講座	多摩図書館	1校	計26名

オ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布

291部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「TAMA selection」「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ほん・本・ごほん」「羅針盤」「羅針盤Ⅱ」「扉をあけて」「しずかなひととき(改訂版)」「本によろこびを子どもたちに」「子どもたちに物語の読み聞かせを」「ひとりでもめるよ」「乳幼児おはなし会ハンドブック」

カ その他生徒向け事業への職員派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
東京都教職員研修センター	次世代リーダー育成道場 事前学習(8月3日、12月11日)	中央図書館	計150名 (1回目:66名、 2回目:84名)

キ 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動(10月6日)	多摩図書館	62名
都立立川学園	ブックトーク(2月2日)	多摩図書館	4名

ク 教職員向けの見学会の受入れ

受入校		実施場所	校数	参加者数
(小学校)	調布市立第三小学校(8月1日)	多摩図書館	1校	30名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研 修 名	会 場	回数	修了者数	
実務研修	転入職員等研修1	中央図書館	1回	17名	
	転入職員等研修2	多摩図書館	1回	14名	
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1回	3名
		(後期)	中央図書館	1回	4名
	都立図書館職員研修 「イチから考えるデジタルアーカイブ-知識インフラを目指すために-」	中央図書館 (オンライン・オンデマンド配信)	1回	86名	

区分	研 修 名	主 催	日数	受講者数
派遣研修	新任図書館長研修	文部科学省	3日間	1名
	中堅職員ステップアップ研修Ⅰ	公益社団法人日本図書館協会	6日間	1名
	中堅職員ステップアップ研修Ⅱ	公益社団法人日本図書館協会	13日間	1名
	関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省、茨城県教育委員会	4日間	2名
	図書館司書専門講座	文部科学省、国立教育政策研究所	10日間	1名
	レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1日間	1名
	レファレンス協同データベース事業フォーラム	国立国会図書館	1日間	3名
	第6回ワークショップ「図書館員の未来準備」	株式会社未来の図書館研究所	4日間	2名
	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	7日間	1名
	レファレンス・サービス研修－経済社会情報を中心に－	国立国会図書館	1日間	1名
	法律図書館連絡会 基礎講座	法律図書館連絡会	1日間	1名
	日本病院ライブラリー協会研修会	日本病院ライブラリー協会	1日間	1名
	アジア情報研修	国立国会図書館・アジア経済研究所	2日間	1名
	第42回(2022年)児童図書館員養成専門講座	公益社団法人日本図書館協会	15日間	1名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2日間	1名
	日本古典籍講習会	国文学研究資料館、国立国会図書館	4日間	1名
	保存フォーラム 第33回	国立国会図書館	1日間	3名
	AIプロジェクトの進め方～企画から運用の勘所～	株式会社富士通ラーニングメディア	1日間	1名
	デジタル・アーキビスト資格取得講座	TRC-ADEAC株式会社	5日間	1名
	図書館等職員著作権実務講習会(オンデマンド)	文化庁著作権課	1日間	2名
	全国図書館大会 群馬大会	公益社団法人日本図書館協会	2日間	9名
	広報基礎講座	公益社団法人日本広報協会	2日間	1名
	スマートフォンで完結!社内外で使える動画撮影編集・発信講座	株式会社宣伝会議	1日間	1名
	動画活用・ディレクション基礎講座	株式会社宣伝会議	1日間	1名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（令和4年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 令和4年度版	令和4年7月	800部
東京都立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 216～No. 221	令和4年5月 ～令和5年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 71～No73	令和4年6月 ～令和5年2月	各250部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	令和4年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイデアカード集 冊子版	平成26年6月5日	139円+税	59部
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月28日	139円+税	259部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料及び東京都行政資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

6 都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和2年2月～令和5年5月

令和2年 2月中旬	イベント開催の可否についての検討開始 2月21日以降開催又は実施するイベント等(会議、施設見学等含む)を中止又は延期
2月28日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の臨時休館と限定的なサービスの提供について
2月29日～ 4月7日	臨時休館開始。 閲覧室等の施設利用等、来館サービスのほとんどを停止 限定的に実施する来館サービスとして、事前予約制の複写サービス(1人1時間、1時間当たり中央図書館4名程度、多摩図書館2名程度まで)を実施 メール・電話でのレファレンスサービス、図書館間の協力貸出は通常どおり継続
3月上旬	学校休校が続く場合の子供の居場所づくり・学習支援への対応を検討
3月16日	HP内に「今こそできる！こんなこと～都立図書館 学習・読書応援ポータル」を開設
3月25日	知事緊急記者会見(感染爆発の重大局面、夜間・週末の外出自粛要請)を受け、事前予約制の複写サービスの時間を短縮(21時まで→17時まで、土日は中止)
3月26日	パンデミック(緊急事態宣言発令)を想定した「都立図書館BCP」の策定に着手
4月6日	都立図書館BCP策定
4月7日	7都府県に緊急事態宣言
4月8日～ 5月31日	「東京都緊急事態措置」(図書館は「基本的に休止を要請する施設」、職員の出勤は2割程度、8割は在宅勤務)を踏まえたBCPにより、予約制複写サービス、電話によるレファレンス、協力貸出等を休止。メールによるレファレンス、郵送複写サービスは縮小実施。ホームページ運用は継続実施。特別整理休館の中止。
4月26日～ 5月31日	多摩:駐車場閉鎖
5月26日	<緊急事態宣言解除> 【プレス発表】東京都立図書館の段階的開館について(6月1日より再開)
5月27日	10時 予約受付開始(電話のみ)
6月1日	第1段階開館スタート 完全予約制(中央:2時間12人まで、多摩:1時間2人まで) 多摩:キニョン(パン屋)再開(テイクアウトのみ 営業時間10時～16時 7月18日より11時～16時に変更)
6月12日	【プレス発表】東京都立図書館の段階的サービス拡充について(6月22日～)
6月15日	多摩:セミナールーム再開、以後、図書館の来館サービス休止期間中は利用休止
6月17日	10時 第2段階予約開始(Web、電話)(予約は原則1人週1回まで)
6月22日	第2段階スタート 予約制・当日枠あり(中央:3時間100人まで、多摩:2時間45人まで) 中央:対面音訳サービス再開(音訳者と利用者は別々の小部屋に入り、内線電話を使って音訳サービスを提供)
7月13日	多摩:対面音訳サービス再開(中央と同様の方法)
7月15日	事前予約枠に残がある場合、当日利用枠に振替える対応を開始
7月19日	事前予約を、1人週2回に拡大
7月27日	5階カフェテリア(有栖川食堂)再開(営業時間11時～14時)
8月3日	1階カフェ再開(営業時間10時～17時)
10月12日	第3段階スタート 予約制・当日枠あり(中央:3時間200人まで、多摩:3時間80人まで) 事前予約を、1人1日1回に拡大(毎日予約も可能)(電話予約は原則週2回まで) 中央:利用エリア拡大(1階 音声・映像コーナー、4・5階 閲覧室、5階 キッズルームをオープン) 対面音訳サービスの拡大(1回2時間・各回1名⇒1回3時間・各回2名) 当日枠は整理券を配布せず、先着順に入館。 多摩:こどものへやの電話予約開始 対面音訳サービスの拡大(1回2時間・各回1名⇒1回3時間・各回1名) カフェスペース再開(11時～16時)、以後、キニョン・カフェスペースともに来館サービス休止期間中は閉鎖

12月1日	第4段階スタート (利用方法の変更) 予約制・当日枠あり(中央:時間制限なし、在館400人まで、17時30分以降は予約不要) (多摩:3時間80人まで) 中央:利用可能エリア=5階交流ルームを除くすべてのエリア 多摩:座席指定をやめ、全席自由に
12月9日	5階カフェテリア(有栖川食堂)営業時間延長(営業時間11時～17時)
12月22日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの一時休止及び来館しなくても利用できるサービスの提供等について
12月28日、 令和3年1月4日 ～1月11日	年末年始期間における更なる感染拡大防止のため、 来館サービスを一時休止 非来館サービスは実施(電話受付は平日21時、土日は17時30分まで)
令和3年 1月7日	1都3県に緊急事態宣言(1月8日～2月7日)
1月8日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止期間の延長及び来館しなくても利用できるサービスの提供について
1月12日～ 2月7日	来館サービス休止を延長 非来館サービスは実施(電話受付は17時30分まで)
2月3日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止期間の延長及び来館しなくても利用できるサービスの提供について
2月8日	10都府県に緊急事態宣言の延長(～3月7日)
2月8日～ 3月31日	来館サービスを再延長 非来館サービスの実施は変更なし
2月27日～ 3月31日	多摩:駐車場閉鎖
3月5日	首都圏1都3県の緊急事態宣言が再延長(～3月21日)
3月21日	緊急事態宣言解除
4月1日～ 4月24日	来館サービス再開(第4段階ベース) 予約制・当日枠あり(中央:時間制限なし、在館400人まで、平日の17時30分以降は予約不要) (多摩:3時間80人まで) 多摩:キニョン 営業時間変更(営業時間10時～16時)
4月12日	東京都にまん延防止等重点措置(23区と6市) 多摩図書館のある国分寺市は対象外
4月12日～ 4月24日	中央図書館の開館時間の短縮 (平日は20時閉館。ただし、非来館サービスについては21時まで実施)
4月23日	4都府県に緊急事態宣言(4月25日～5月11日)
4月23日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止及び来館しなくても利用できるサービスの提供等について
4月25日～ 5月31日	来館サービス休止 非来館サービスは実施(電話受付は17時30分まで) 多摩:駐車場閉鎖
5月12日	緊急事態宣言延長(～5月31日)
5月28日	【プレス発表】東京都立図書館の来館サービスの再開について
6月1日	緊急事態宣言再延長(～6月20日)
6月1日～	来館サービス再開 予約制・当日枠あり(中央:第3段階ベース 3時間250人まで、多摩:第4段階ベース 3時間80人まで) 開館時間短縮(中央・多摩:平日20時まで。土日祝17時まで) 中央:5階カフェテリア(有栖川食堂) 平日11時～14時のみ営業 多摩:セミナールーム利用時間短縮(9時～17時)、キニョン営業時間短縮(10時～16時) カフェスペース再開(10時～16時)
6月18日	緊急事態宣言解除、まん延防止等重点措置に移行(6月21日～7月11日)
6月21日	中央:1階カフェ再開 平日10時～17時のみ営業
7月8日	沖縄県に加えて東京都に緊急事態宣言(7月12日～8月22日)

7月30日	緊急事態宣言延長(～8月31日)
8月17日	緊急事態宣言再延長(～9月12日)
9月9日	緊急事態宣言再延長(～9月30日)
10月1日	緊急事態宣言解除
10月4日～	来館サービス拡大(第4段階ベース) 予約制・当日枠あり(中央:時間制限なし、在館400人まで、17時30分以降は予約不要) (多摩:3時間80人まで、土日祝の最終回は3時間半80人まで) 開館時間延長(中央・多摩:平日21時まで、土日祝17時30分まで) 多摩:セミナールーム夜間利用再開
令和4年 1月7日	中央:閲覧席や各カウンター、トイレ等に光触媒による抗菌・抗ウイルスコーティング施工を実施 5階カフェテリア(有栖川食堂) 月曜～金曜11時～17時のみ営業、1階カフェ営業休止
1月19日	東京都にまん延防止等重点措置(1月21日～2月13日)
2月3日	多摩:閲覧席やこどものへや、セミナールーム、トイレ等に光触媒による抗菌・抗ウイルスコーティング施工を実施
2月10日	まん延防止等重点措置延長(～3月6日)
3月4日	まん延防止等重点措置延長(～3月21日)
3月17日	東京都でリバウンド警戒期間を設定(3月22日～4月24日)
4月21日	リバウンド警戒期間延長(～5月22日)
5月26日	館内マスク着用の取扱いの一部見直し 他者との身体的距離(2m以上を目安)があり、会話を行わず、閲覧席等その場に留まる場合、マスク着用を求めない (未就学児のマスク着用は一律に求めない)
7月4日～	多摩図書館の来館サービス拡大(第5段階) 一部予約制・当日枠あり(時間制限なし、在館115人まで、17時30分以降は予約不要、こどものへやは予約制を終了) 多摩図書館のカフェスペース利用時間変更(8時45分～16時)
8月5日～	中央図書館天井改修工事(8月～2月)に伴い、利用可能エリアを縮小して来館サービスを提供 予約制・当日枠あり(中央:3時間半207人まで、17時30分以降は予約不要)、4階・5階閲覧室が利用可能、 利用者入口を変更、図書館敷地の一部立入禁止(7月25日～2月下旬)及び通行止め(～3月31日)
8月27日～ 9月3日	中央図書館空調設備の不具合により5階閲覧室の利用を一時休止(在館103人まで)
10月1日～	多摩図書館空調設備改修工事(9月～3月)に伴い、臨時閲覧室において来館サービスを提供 一部予約制・当日枠あり(在館53人まで、17時30分以降は予約不要、児童書・絵本コーナーは予約不要) 2階セミナールームを臨時閲覧室として提供、正面入口利用不可
10月12日～	中央図書館臨時閲覧室でのサービスを開始(平日の入替制を終了、在館230人まで。17時30分以降は予約不要、在館207人まで)
令和5年 1月12日～	中央図書館 予約制・当日枠あり(中央:時間制限なし、在館230人まで。17時30分以降は予約不要、在館207人まで)
3月16日～	中央図書館の来館サービス拡大(第5段階) 予約制を終了、在館600人まで、マスク着用は個人の判断による 対面音訳サービス再開(1回3時間・各回2名)
3月20日～	多摩図書館の来館サービス拡大(第6段階) 予約制を終了、在館175人まで、マスク着用は個人の判断による 対面音訳サービス再開(1回3時間・各回1名)
5月8日～	新型コロナウイルス感染症の位置づけが感染症法上の5類感染症に変更 入館制限を終了、グループ閲覧室(中央・多摩)及び交流ルーム(中央)を再開、閲覧席に設置のアクリル板を撤去

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ〜ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ〜セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長祿年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、尺牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士 諸橋轍次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書。経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎てきさいから代々集積

された書籍である。曾祖父に当たる佐藤いっ一斎さいの「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村きん次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究者にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎そんげん(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤さねとう恵秀けいしゅう氏(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究者としても活躍した渡辺金造とうすい(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ〜ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄なおすみ旧蔵書、文学関係資料には池田文庫(池田いけだ亀鑑かみかん氏旧蔵)の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋はちや茂橘もきつ氏旧蔵)の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約10,000点(冊)

岡文庫（岡千仞〔鹿門〕氏旧蔵）の稿本類、反町文庫（反町茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山久一郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫（宍戸昌氏旧蔵）の海雲楼博物雜纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂憲徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山健堂氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

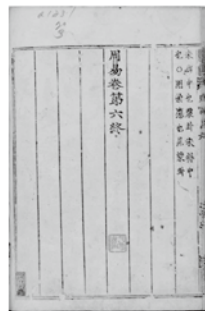
「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だてはないが、中には希覯なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤廉平氏（1848-1921）の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和6年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。



『周易』伏見版 魏王弼・晋韓康伯注

[慶長10(1605)]年刊 3冊(有欠) 反町茂雄旧蔵 特別買上文庫 特600

伏見版は慶長4年(1599)から11年(1606)にかけて、徳川家康(1542-1616)が京都、伏見の地で出版させた書物の総称である。家康自ら刊行事業を指導し、伏見の円光寺の閑室元祐(1548-1612)に木活字10万個を与えて始めさせたことから、円光寺版の称もある。周易は、五経(易・書・詩・礼・春秋)の筆頭に置かれる儒教の経典。家康は政治倫理の規範を中国の古典に求め、経書をはじめ政書・史書・兵書・仏書等の古典を選んで刊行したようである。

昭和20年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一(青淵)氏(1840-1931)が創始した文庫で、大正12年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏(1896-1963)がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和38年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詠状類 約 200 点

中山太氏(1876-1947)が収集した、正保2(1645)年から大正4(1915)年にかけての、詠状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,800 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約 267,900 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 640 種、雑誌は約 2,200 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 187,700 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く）がある。

在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他文化への理解を深める資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 76,500 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 26,000 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、令和 5 年 3 月末現在約 8,500 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することにより、時代の流れが見えるものであり、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 262,900 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 7,500 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

VII 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 30 期東京都立図書館協議会について

第 30 期東京都立図書館協議会は、「都立図書館の DX とその先にあるサービス」をテーマとして協議し、令和 5 年 3 月に提言をまとめた。

令和 4 年度は定例会を 4 回、部会を 2 回開催した。

3 第 30 期東京都立図書館協議会提言の概要

第 30 期提言は、デジタル・トランスフォーメーション (DX) を「ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」と定義し、DX を活用した「目指す都立図書館像」を「いつでもどこでも誰でも利用できる図書館」と設定した。その上で、2 年間にわたり「図書館における DX による利便性向上」「利用者の変化に応じたサービス」という 2 つの観点で議論し、多くの取組を提起し、提言した。(以下、抜粋)

(1) 図書館における DX による利便性向上

「サービスの DX」、「情報資源の DX」、「施設・空間の DX」、「マネジメントの DX」、「DX 推進のリーダー」、「プラットフォーム・既存技術の活用」の 6 つの柱を立て、提言をまとめた。

6 つの柱は、それぞれ「攻めの DX」、「守りの DX」に分類することができる。「攻めの DX」は、「サービスの DX」、「情報資源の DX」、「施設・空間の DX」が主に該当し、それによって図書館の競争力を強化し、新たな価値創造力を高めるものである。「守りの DX」は、「マネジメントの DX」、「プラットフォーム・既存技術の活用」が主に関係し、業務効率や生産性向上などを目指すものである。「DX 推進のリーダー」は、「攻めの DX」、「守りの DX」をともに推進するものであり、公立図書館界のリーダーとして DX 推進の旗振り役となることを目指すものである。

1 サービスの DX	(1) レファレンスサービスの DX
	(2) 自宅からコレクションに出会う
	(3) 都内図書館を一つに
	(4) 都立図書館が使用するプラットフォーム
2 情報資源の DX	(1) デジタル資料の充実
	(2) デジタルアーカイブの充実
	(3) コレクションへのアクセス向上
	(4) 迅速正確な収集管理
3 施設・空間の DX	(1) 快適な利用空間
	(2) 新たな価値創造空間
	(3) 働きやすい職場空間
4 マネジメントの DX	(1) 組織体制の改革
	(2) 職員の研修
	(3) EBPM の推進
	(4) 働き方の改革
	(5) 利用者へのリーチ
5 DX 推進のリーダー	(1) 都内図書館や都立学校等との連携強化
	(2) 出版業界団体や関係省庁等への働きかけ
	(3) イベント情報の標準化と共有
6 プラットフォーム・既存技術の活用	(1) プラットフォームの活用
	(2) ICT ツールの活用

(2) 利用者の変化に応じたサービス

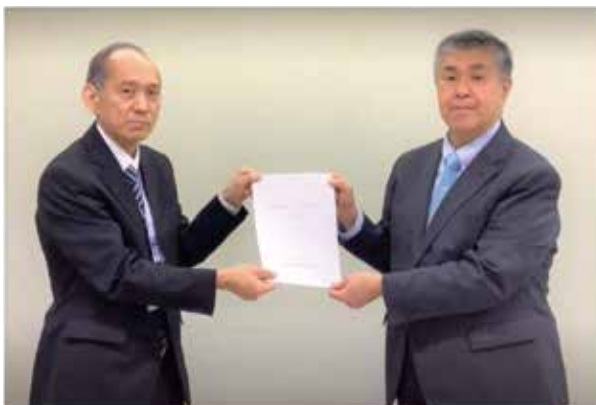
「利用者の変化に応じたサービス」は、状況により図書館利用が難しい利用者群を想定し、主に「図書館利用に障害のある人々」、「日本語以外を母語とする人々」、「高齢の人々」、「働く人々、子ども・子育て中の人々」、「学校教育を受ける人々」の5つの類型を設定した。多様な背景をもつ人々に対して、ユニバーサルデザインの視点も踏まえ、デジタルの力を借りてサービスを届けることとし、提言をまとめた。

1 図書館利用に障害のある人々	(1) 関係者の人材育成支援
	(2) 都内の障害者サービス非実施地域の補完
	(3) テキストデータの製作と提供
	(4) 民間のアクセシブルな電子図書館サービスの基盤整備
	(5) デジタルデータ収集への出版界への働きかけ
2 日本語以外を母語とする人々	(1) 場所を介した交流機会の提供
	(2) デジタル技術を学び合う
	(3) サインシステムと情報発信のこぼれ
	(4) 図書館の情報発信のあり方
	(5) 多言語絵本の活用
	(6) 多言語電子書籍の提供
3 高齢の人々	(1) デジタル機器利用のサポート
	(2) 利用者のピアサポート等の支援
	(3) 図書リストの公開
4 働く人々、子ども・子育て中の人々	(1) 非来館型のサービス
	(2) オンラインによる読書イベントのホスト
	(3) 子ども向けプログラミング・STEAM教育
	(4) ビジネス支援のためオンラインによる講座
5 学校教育を受ける人々	(1) 学校向けの電子図書館サービス
	(2) 学校図書館支援センター的機能の強化
	(3) 関係者の人材育成支援

4 第30期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 令和3年7月1日～令和5年6月30日）

氏名（五十音順）	職名（令和5年3月現在）
赤羽 淳子	公募委員（児童文学作家、日本児童文学者協会理事）
五十嵐 俊子	渋谷区教育委員会教育長
植村 八潮	専修大学文学部教授兼大学院法学研究科教授
◎小田 光宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授・学部長
久我 尚子	株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部上席研究員
小林 正基	東京都立駒場高等学校校長
関根 千佳	株式会社ユーディット会長、同志社大学客員教授
橘 雅子	公募委員（株式会社マチミク代表取締役）
新居 みどり	特定非営利活動法人 国際活動市民中心 理事／コーディネーター
古屋 真宏	国分寺市教育委員会教育長
○松本 直樹	慶應義塾大学文学部人文社会科学部図書館・情報学専攻准教授
和気 尚美	三重大学情報教育・研究機構 招へい教員

◎議長 ○副議長



令和5年3月24日 議長より管理部長（館長欠席のため代理）に提言を手交
（左より、黒田管理部長、小田議長）

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期間	答申等年月	答申等
第1期	昭和35年2月 ～昭和37年1月	昭和37年2月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第2期	昭和37年2月 ～昭和39年1月	昭和38年7月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第4期	昭和41年3月 ～昭和43年2月	昭和43年2月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第6期	昭和45年4月 ～昭和47年3月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第8期	昭和47年7月 ～昭和49年6月	昭和49年6月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方 (答申)
第11期	昭和55年9月 ～昭和57年9月	中間答申 昭和56年6月 最終答申 昭和57年5月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第15期	昭和63年10月 ～平成2年10月	中間答申 平成2年3月 最終答申 平成2年10月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第16期	平成3年1月 ～平成5年1月	平成4年12月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第17期	平成5年4月 ～平成7年4月	平成7年3月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について (意見具申)
第18期	平成7年7月 ～平成9年7月	平成9年3月	21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第19期	平成9年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －ITを活用したサービスの革新－ (提言)
第21期	平成14年4月 ～平成16年3月	平成15年3月 平成16年2月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか (提言1) 都内公共図書館発展のための連携協力について(提言2)
第22期	平成16年10月 ～平成18年9月	平成18年3月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第24期	平成21年5月 ～平成23年4月	平成23年3月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第25期	平成23年5月 ～平成25年4月	平成25年3月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第26期	平成25年5月 ～平成27年4月	平成27年3月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第27期	平成27年7月 ～平成29年6月	平成29年2月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020年とその先に向けた提言－ (提言)
第28期	平成29年7月 ～令和元年6月	平成31年3月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－ (提言)
第29期	令和元年7月 ～令和3年6月	令和3年3月	都立図書館ならではのサービスを考える －保有する情報資源の一層の活用を目指して－ (提言)
第30期	令和3年7月 ～令和5年6月	令和5年3月	都立図書館のDXとその先にあるサービス (提言)

Ⅶ 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 平成28年11月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
 - 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
 - 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
 - 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
 - 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
 - 6 図書資料等の複写
 - 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
 - 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附属設備(以下「施設等」という。)の貸出し
 - 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業
- (開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2-1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2-2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

- 1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割
- 2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割
- 3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分
- 4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかつた場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならない。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。
(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する、

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

別表第1(第4条、第11条関係)

館の名称		中央図書館及び多摩図書館
開館時間	月曜日から 金曜日まで	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び 日曜日	午前10時から午後5時30分まで
休館日	年始	1月1日から同月3日まで
	年末	12月29日から同月31日まで
	設備等の 保守点検日	毎月1日以内
	館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間	1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から 金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その 日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び 日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分		使用単位	金額	
施設	セミナー ルーム	分割しないで 使用するとき。	午前	8,100円
			午後	10,800円
			夜間	8,100円
			全日	27,000円
	分割して使用 するとき。	1	午前	4,200円
			午後	5,600円
			夜間	4,200円
			全日	14,200円
		2	午前	3,800円
			午後	5,100円
			夜間	3,800円
			全日	12,800円
	講師控室	1	午前	300円
			午後	400円
夜間			300円	
全日			1,000円	
2		午前	300円	
		午後	400円	
		夜間	300円	
		全日	1,000円	
附帯 設備	音響映像操作機器	一式1回	2,900円	
	液晶モニター	一式1回	120円	
	プロジェクター	一式1回	840円	
	ワイヤレスマイクセット	一式1回	240円	

(別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。)

2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画-1972-に組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
48. 10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正(昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正(名称変更:東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)
5 都立多摩図書館開館

- 昭和 63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
2. 3 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
 10 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
 12 「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第17期東京都立図書館協議会意見書)
9. 3 「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)
 「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造―生涯学習社会における都立図書館の役割」(第18期東京都立図書館協議会答申)
10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定(都立3館)
 7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか?―社会問題への図書館の関わり方」(第19期東京都立図書館協議会提言)
 11 「資料保存計画」策定(東京都立図書館資料保存委員会)
 東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」=図書館活用講座実施
 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
 都立図書館ホームページ開設
 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館(平成14年2月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方―ITを活用したサービスの革新」(第20期東京都立図書館協議会提言)
- 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」(都立図書館あり方検討委員会報告)
 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の3館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
 都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第21期東京都立図書館協議会提言1)
 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始(平成19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第21期東京都立図書館協議会提言2)
 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第22期東京都立図書館協議会答申)
 7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース(G-Searchサービス)の有償提供の試行開始
 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の8係を6係に組織改正
 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性に

ついて合意

- 平成 20. 11 都立図書館創立 100 周年<明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館>
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
- 12 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
 - 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
 - 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更（午前 10 時から開始）
 - 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
 - 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
 - 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
 22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
 - 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
 - 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
 23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
 - 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
 - 11 東京都立図書館 Twitter を開始
 - 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
 24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
 - 10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
 25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
 - 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して—より質の高い図書館サービスの追求—」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
 - 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
 - 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
 26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
 - 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
 27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
 - 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
 - 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後 3 か年の重点目標」を設定
 - 7 都立中央図書館 カフェコーナーを 1 階にオープン
 28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
 - 8 都立多摩図書館建設工事竣工
 - 10 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 - 12 都立中央図書館 2020 年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
 29. 1 都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）
 - 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して—2020 年とその先に向けた提言—」（第 27 期東京都立図

書館協議会提言)

平成 29.10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」 試行的実施

11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始

都立中央図書館 「キッズルーム (授乳室付き)」を開設

都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書国際交換に伴う贈呈式を実施

30. 1 「都立図書館実行プラン to 2020」策定

2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催

3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設

6 都立中央図書館 5階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして1階に移転

9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設

10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」(浜離宮恩賜庭園)に出展

31. 2 平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書を発行

31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」(第 28 期東京都立図書館協議会提言)

令和 元. 7 都立図書館ホームページに「平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書」と「平成 30 年度都立図書館利用実態・満足度調査」報告書を掲載

10 令和元年台風第 19 号の関東地方上陸により、10 月 11・12 日を臨時休館とする。

2. 2～5. 5 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策下における館運営については、p. 27～29 「都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和 2 年 2 月～令和 5 年 5 月」を参照

3. 2 「都立図書館実行プラン 2021-2023 AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」策定

3. 3 「都立図書館在り方検討委員会 最終報告～AI 時代の都立図書館像～」

「都立図書館ならではのサービスを考えるー保有する情報資源の一層の活用を目指してー」(第 29 期 東京都立図書館協議会提言)

3. 11～4. 1 都立中央図書館 工事等に伴う来館サービスの休止 (11/11～1/6)

(11/15～12/28 は非来館サービス等を実施)

4. 1 都立中央図書館 1 階中央ホールの展示コーナーを「話題の洋書コーナー」にリニューアル

都立中央図書館 Tokyo2020 アーカイブ資産展示コーナーを開設

チャットボットサービス「都立図書館利用案内 Q&A」を開始

動画「6 秒でわかる都立図書館」を東京動画で公開

4. 6 来館による複写サービス窓口での交通系電子マネーの取扱いを開始

4. 8～5. 3 都立中央図書館 天井改修工事等に伴う来館サービスの縮小 (8/5～3/15)

(7/19～8/4 は来館サービス継続準備のため、12/19～1/11 はシステム更新のため、
2/21～3/14 は閲覧室等の復旧のため、臨時休館)

4. 10～5. 3 都立多摩図書館 空調設備改修工事等に伴う来館サービスの縮小 (10/1～3/19)

(9/1～9/30 は臨時閲覧室でのサービス提供準備のため、12/19～1/11 はシステム更新のため、
2/21～3/19 は閲覧室等の復旧のため、臨時休館)

4. 10 「東京 2020 アーカイブ資産 (一般公開文書)」の閲覧を開始

4. 11 「東京都立図書館デジタルアーカイブ (TOKYO アーカイブ)」と「ジャパンサーチ (JAPAN SEARCH)」の連携を開始

5. 1 データベース/調査研究ルームの利用予約システムを導入

大学図書館への貸出事業を実施

5. 2 東京都立図書館 Twitter を東京都カテゴリ別公式アカウント「東京都 子供・教育」に統合

5. 3 東京都立図書館ディスカバリーサービスを導入

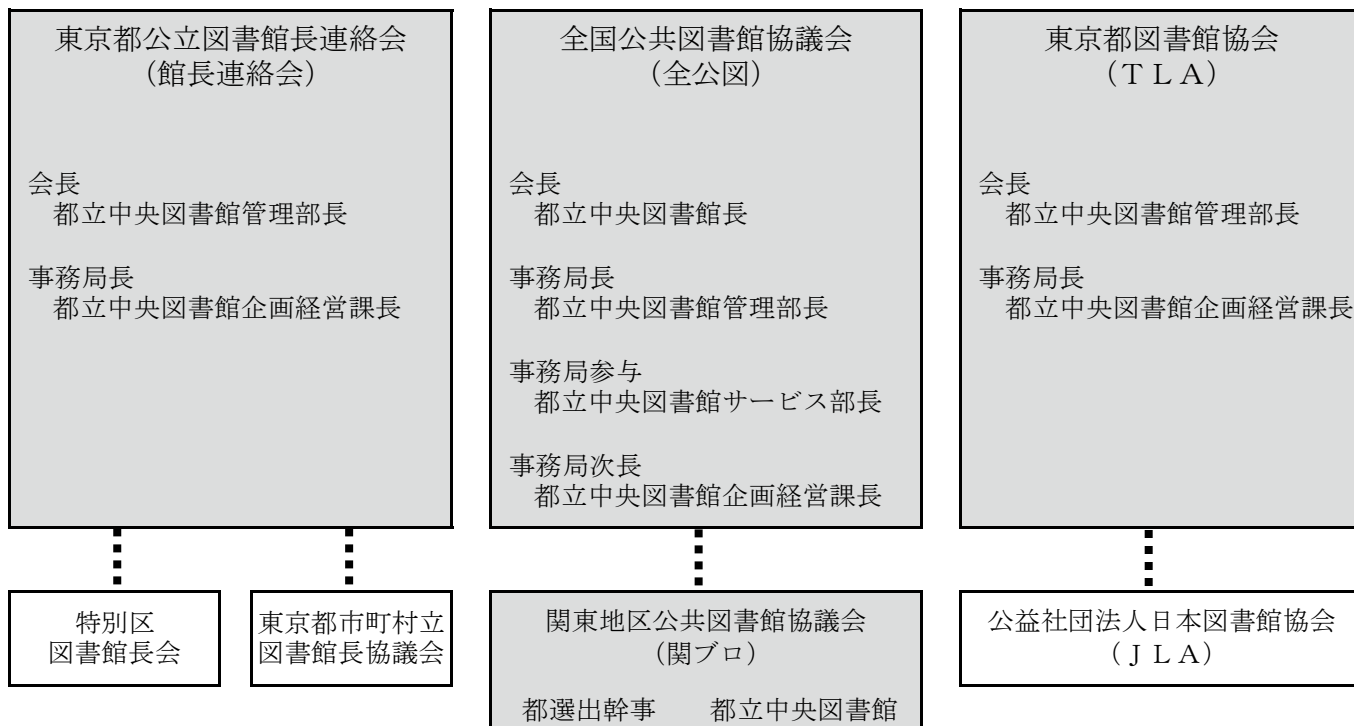
「都立図書館の DX とその先にあるサービス」(第 30 期東京都立図書館協議会提言)

やさしい日本語版ホームページを公開

5. 4 尾木直樹氏が都立図書館名誉館長に就任

3 図書館関係団体・組織一覧

(令和5年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会 (館長連絡会)

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱(17中図管企第74号)により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会 (全公図)

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会 (TLA)

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会 (関プロ)

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員(都選出幹事)として参画している。

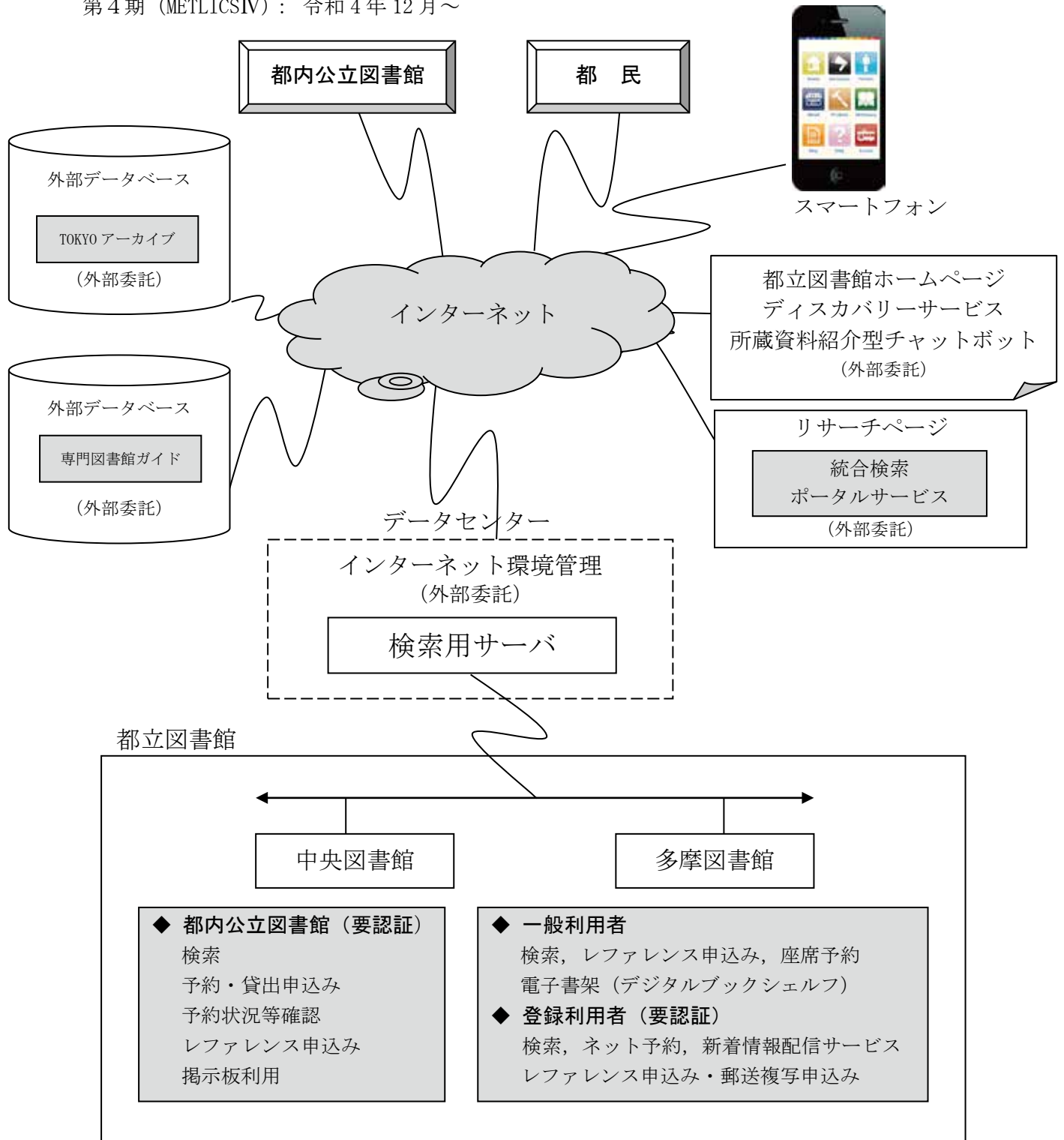
4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICS I) : 昭和63年3月～

第2期 (METLICS II) : 平成12年2月～ 平成17年6月に機器更新

第3期 (METLICS III) : 平成23年12月～ 平成28年12月に機器更新

第4期 (METLICS IV) : 令和4年12月～



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 5 台
- ・ クライアント : 206 台
- 業務用 : 142 台 (中央 107 台、多摩 35 台)
- 利用者用 : 64 台 (中央 45 台、多摩 19 台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

<p>共通 シンボルマーク</p>		<p>中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用</p>
<p>中央図書館 シンボルマーク</p>		<p>中央図書館が実施する事業で使用</p>
<p>多摩図書館 シンボルマーク 1</p>		<p>多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)</p>
<p>多摩図書館 シンボルマーク 2</p>		<p>多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用</p>

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>



携帯電話等からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト

https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/feature_phone/index.html

- スマートフォンからの蔵書検索

<https://catalog.library.metro.tokyo.lg.jp/winj/sp/top.do>

東京都立図書館 Facebook

<https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録ください。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

*総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

*資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

*複写受付カウンター

*話題の洋書コーナー（令和5年3月リニューアル）

日本の伝統・文化や観光情報を紹介する洋書「Books on Japan（日本に関する洋書）」のほか、各分野の新着洋書、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」などを集めて、タイムリーに提供しています。

○ 重点的情報コーナー

*ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

*法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

*健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。また、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約150冊を置く「介護応援コーナー」を設置しています。

*闘病記文庫

闘病体験記録約850冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の雑誌約20誌も備えています。

過去の新聞（約500紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約4,000誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。また、「都市計画」「海外都市」「都市の産業」など、都市に関する資料を10のテーマ別に配置し、「都市」に関する情報を提供しています。



▲中央図書館



▲話題の洋書コーナー



▲都市・東京情報コーナー

開架図書は約 39,400 冊です。東京関係の雑誌約 20 誌、都市に関する雑誌約 30 誌も備えています。
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で使用された競技用具や記念品などのアーカイブ資産を展示する「東京 2020 アーカイブ資産展示コーナー」があります。

○ **音声・映像コーナー**

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、約 18,300 点を所蔵しています（4 席）。

○ **カフェコーナー**

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

2 階

○ **社会・自然科学系 資料・閲覧室**

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3 階

○ **人文科学系 資料・閲覧室**

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」では、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

「日本語学習コーナー」では、約 400 冊の日本語学習用資料を言語別・テーマ別に展示しています。

また、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ **視覚障害者サービス室**

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デージー図書を含む）6,215 点、点字図書 733 点、点字雑誌 10 種、録音雑誌 20 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4 階

○ **閲覧室**

ほぼ全席にパソコン用の電源があります。

○ **企画展示室**

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ **グループ閲覧室**

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ **多目的ホール**

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5 階

○ **閲覧室**

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ **グリーンビューシート**

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です（12 席）。

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席です。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます(19席)。

○ 交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながらの調査研究や異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます(36席)。

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、授乳用の椅子やおむつ交換台も用意しています。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1階から3階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1階から4階の閲覧席、5階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）

1階から4階の閲覧室、5階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）が利用できます。

◆ 案内ホットライン

3階には、案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・ 1階受付で、車椅子の貸出をしています。
- ・ 1階新聞閲覧コーナー、2階資料・閲覧室、3階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・ 1階と2階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・ 1階と4階にAEDを設置しています。

【各階の閲覧席数】

〔建物概要〕	
昭和47年3月	竣工
昭和48年1月	新築、開館
平成7年7月～平成8年5月	施設・設備改修
平成20年5月～12月	施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート	地上5階、地下2階
敷地面積	9,157.21 m ²
延べ床面積	延 23,196.21 m ²
収蔵可能冊数	約 208万冊（うち、開架約35万冊）
閲覧席	932席（スツール席含め、1,066席）
敷地内全面禁煙	

1階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	41
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2階	資料・閲覧室	198
3階	資料・閲覧室	276
4階	閲覧室	164
	グループ閲覧室	24
5階	閲覧室	72
	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成 29 年 1 月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却のほか、オンラインデータベース等の利用を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30 種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館の資料を使った展示やテーマごとの企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約 1 か月分の新聞 40 紙を配架しています。新聞を写真形式で保存したマイクロフィルムを見ることもできます。



▲多摩図書館



▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約 6,000 タイトルのうち、約 1,500 タイトルの最新約 1 年分を配架しています。

このうち、日本語雑誌は 50 のジャンル別に約 1,100 タイトル、外国語雑誌は 12 か国語約 400 タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約 3,200 冊の参考図書のほか、都政資料も備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約 23,300 冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約 10,800 冊あります。

また、子供の読書活動推進や、学校での読書活動を支援するために作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 13,200 冊の絵本や物語、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供たちが気軽に質問や相談ができるようにしています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、親子や友達同士でゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 32,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面朗読及び録音資料の作成を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi (TOKYO FREE Wi-Fi)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆ バリアフリー対応等

- ・総合案内で、車椅子の貸出をしています。
- ・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
- ・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
- ・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
- ・入口に AED を設置しています。

【建 物 概 要】

平成 28 年 8 月	竣工
平成 29 年 1 月	移転開館
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 3 階
敷地面積	7,216.74 m ²
延べ床面積	延 8,982 m ²
収蔵可能冊数	約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)
閲覧席	227 席
敷地内全面禁煙	

8 案内図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

 ただし、
 - ・特別文庫室 午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

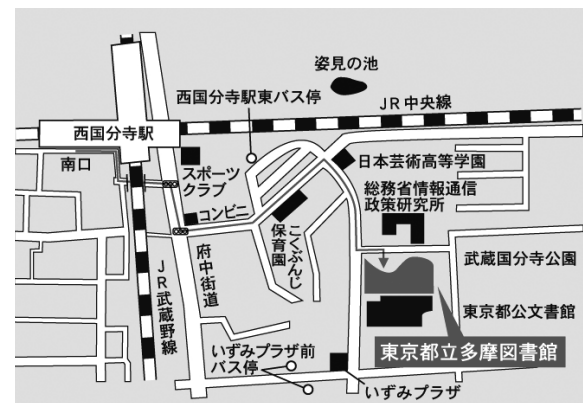
- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451（代）

- 【交通】
- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
 - ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
 - ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
 - ・都バス 橋86系統 目黒駅前～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
 - ・港区コミュニティバス（ちいばす） 麻布西ルート 97 愛育クリニック



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町2-2-26
電話 042-359-4020

- 【交通】
- ・JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩7分
 - ・京王バス 寺85系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地） いずみプラザ前 徒歩5分
 - ・ぶんバス 万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート 西国分寺駅東 徒歩4分

事業概要 令和5年度版

登録番号(5)第1号

主要刊行物指定

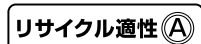
令和5年7月29日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 株式会社 能登浦



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

